

中国上海ジャーナリスト招聘プログラム

期 間： 2017年10月23日(月)～10月27日(金)
参加者： 曹海炯 上海市对外友好協会 常務理事 日本処 処長
張宇 上海市人民政府新聞弁公室 对外宣伝処 調研員
洪俊杰 解放日報 記者
吳躍偉 The Paper (澎湃新聞) 記者
馬玥 上海日報 記者
桑怡 東方網 エディター
コーディネーター： 村松康平 経済広報センター国際広報部主任研究員

経済広報センターは10月23日から27日の日程で、中国・上海市人民对外友好協会ならびに上海市政府新聞弁公室の協力を得て、在上海の有力メディア4社（解放日報、The Paper、上海日報、東方網）の記者を日本に招聘した。中国では環境問題への対応が社会的に重要な課題となっていることから、今回の訪日では、各業界を代表する企業を訪問し、環境への積極的な取り組みについて説明を聞いた。加えて、経済広報センター会員企業13社の広報担当者との交流会も開催。日中両国の経済・社会の状況等、幅広いトピックについて意見交換した。

上海メディア記者一行が訪問したのは、花王、新日鐵住金、パナソニック、富士フイルム、ヤクルト本社の5社。各社では、洗剤等の詰め替え用製品や太陽光発電システム、HDD（ハードディスク）に比べ消費電力を大幅に削減した大容量磁気テープなど、省エネ・省資源につながる商品・技術の開発状況について話を聞いた。また、水の再利用技術を活用した工場での節水システムなどについて説明を受けるとともに、CO₂排出を大幅に削減した製鉄所の発電設備なども見学した。

参加した記者らからは、「日本企業の環境への真摯な対応については、中国企業が見習う点が多い」などの声が寄せられた。

なお、東方網や解放日報などでは、今回訪問した企業の取り組みを詳しく紹介するとともに、環境対応をはじめさまざまな面で社会的責任をきちんと果たそうとする日本企業の姿勢を高く評価する内容の記事を配信した。

以上



取材の様子